

(自由記述意見)

和泉のぶたけ氏 (日本共産党) 奈良第2区

安倍内閣の「骨太の方針」と「改訂成長戦略」には、国民が安心できる社会保障の土台を掘り崩す政策が次々と盛り込まれています。医療、介護、年金、生活保護などの大幅な給付減と負担増の強化ばかりでは、暮らしはとて成り立ちません。お金のない人が必要なサービスを受けられなくなる「営利化」の方向も露骨です。国民生活を壊す「骨太の方針」と「改訂成長戦略」の具体化を許さないために力を尽くします。

去年の「骨太の方針」にあった「自助、共助、公助のバランス」という方針が、今年は、「自助・自立のための環境整備」に代わり、なりふり構わぬ社会保障費削減路線を推進する安倍暴走政権の姿勢を象徴しています。医療・介護総合法に盛り込んだ「軽度」の要介護者を公的制度から締め出すなどの仕組みづくりをさらに加速するものです。高額な治療費が支払えないと受診できない「混合診療」の拡大に道を開く危険のある仕組みの導入も提言しました。お金の有無にかかわらず、必要な医療を受けられる「国民皆保険」原則を突き崩すことは、許されません。大企業の大もうけを保障するために、国民の生活を痛めつける政治では日本経済そのものも成長できないことは明らかです。国民の暮らしを最優先にする政治への転換こそが必要と考えます。